

武雄市・山内町・塩田町・嬉野町の1市3町 合併どうなる？新市名問題 武雄市(名)を取るか！湯陶里市(実)を取るか！

ハートコミュニケーション
栄八通信

第20号

147 10月末発行



武雄市議会議員
宮本 栄八
TEL・FAX 23-0750
携帯 090-5083-0793

私は、湯陶里市でも合併に期待したい。
えいはち

新市名称選定に問題無し

私は、名称小委員会や協議会を全て、傍聴しましたが、湯陶里の選定までに何ら強行もなく、定められたルールに沿って正式に決定されたことと証言します。市民の方から聞く主な質問に対しては、解りやすく、Q&Aで答えていますので参考にして下さい。

すこし、解説すると、名称小委員会で2次選定する時に、多くの小委員が、現市町名を除外して10点を選ぼうとの意見だったが、武雄市の委員の発言で、この時点で除外せず、委員の推薦の複数ある武雄と嬉野は、残すこととなった。このように、委員の多くに、新たな名称を内心望む伏線があった。一方、武雄市の委員は、協議会でも候補に残り、最終的には、武雄市になるものと思っていたろうし、当時、市民からの絶対に武雄にせよとの動きもなく、再協議の署名を集めた、区長会長も、名称小委員でもあったが、絶対武雄にすべきとか、湯陶里はふざけているとか特に発言はなかったと思う。また、3次選定で、5点に絞る

新市名全国公募		15年10~11月
1,587点		
1次選定	33点	(名称小委員会) 各委員7点を推薦
2次選定	10点	(名称小委員会) 委員の推薦多数より
3次選定	5点	(協議会) 委員2票投票 西九州・武雄 肥前・嬉野 湯陶里
4次選定	2点	(協議会) 委員2票投票 武雄 湯陶里
5次選定	湯陶里市決定	(協議会) 委員1票投票

時に、「葉隠」はいけないなど、欠点を指摘する意見が当初されたが、新市の名称にケチを付けながら選ぶのは止めようとのことで、長所や好意で選定することとなった。その結果、湯陶里市は短所もつ名称となったが、方針をそのまま決めた以上やもうえない。さらに、4次選定でも、一人2票を投じたが、これも、一番希望がかなわなくても、二番でもかなえば、意見が反映することだった。

だが、結果的には、武雄市と湯陶里市がペアの票。(たぶん武雄の委員と思う。) また、西九州市と肥前市がペアでの票も多かった。(たぶん、嬉野の委員が嬉野を自らすてて投票したと思われる。) この力学から考えれば、武雄が1位でゴールすると思われたが、前述の新市名は、新たな名称を付けたいとの伏線が、現市名と新市名との選択と言う形になり、究極の選択となって、19対14で湯陶里市に決った。

だから、今思えば、武雄市の委員が、武雄と湯陶里をペアとせず、逆に嬉野と書いて、現名称同志の戦いすれば、武雄になったかもしれないが、それは結果論で、ルールを決めて決定した以上、悪法も法なりとまでは、言わないが、従うべきと考える。

ある意味では、二番目の希望が叶えられたと感謝すべきかもしれない。武雄市のキャッチフレーズは、いって湯と陶芸のふる里であり、嬉野町は、水と情緒・のほほんであり、その意味でも、武雄の別称とも言える。ある意味で湯陶里は、推薦・投票5回もの難関を突破した強運をもつ名称と言いうこともできる。

よくある質問

Q&Aコーナー

- Q 湯陶里市は、「ゆとり」市と読まず、「ゆとろり」としか読めないのではないですか？
A たとえば、伊万里も「いまり」で「いまんり」ではありません。万は、まよと読まないし、杵島も「きねしま」、でなく「きしま」と問題はないと思われまます。
- Q 名称募集で、武雄市が一番多かったのに、なぜ武雄市にならないのですか？
A 一般公募の段階では、票数に関係なく、広く全国に公募していますので、そこでの票数は関係なく、単に同一名称の応募が複数あったこととなります。
- Q 湯陶里の名は福島県に、温泉
A 湯陶里の歴史は50周年ですし、以前からの町名は残ります。
- Q 市名変更により、土地登記などの変更はどうなりますか？
A 国の職権によって、変更されますので、手続はいりません。
- Q 19年度、統合される新高校に新市の名称が付けられますか？
A 新高校の名称は、公募して、県教育委員会が決定しますので市名とは必ずしも関係ありません。
- Q 施設として商標登録されていますが、問題がありませんか？
A 現在の武雄市も市は商標登録していません。この問題はありませぬ。(市長言)
- Q 歴史ある武雄市を無くすのは残念で文化を大切にすべき
A 歴史的には、塩田宿・嬉野宿と古く、柄崎宿はありましたが、武雄市の歴史は50周年ですし、以前からの町名は残ります。

再協議より決断を

- 湯陶里市で合併
- 武雄市名で枠組変更
- 武雄市単独

私は、現在の1市3町のわく組みて、合併するとすれば、新市名称は、法定協議会で、確認された「湯陶里市」でないと思われまます。武雄市区長会が集めた、市名再協議の働きかけ望む、2万数千名の署名を受け、古庄市長が、再協議を4市町の首長に提案をしているが、替同が得られず実現進展ない。それは、嬉野町長が、5月21日武雄市文化会館であった、第21合併協議会で、議案審議の終了後に、その他で、武雄市の議長から名称再協議の話が出されたが、きっぱり、「再協議をおこわります。」と明言された。たぶん会場にいた全員がビックリしたと思う。私が考えるに、嬉野町長は、その場でとっさに発言したのではなく、協議会場に来た時はすでに、協議会の解散も視野に入れて、責任を取る覚悟での発言と見えた。

このように、腹を決めておられるので翻意は難しいと思われまます。また、6月19日の第23回協議会でも、武雄市の民間委員の2名から、その他の件の時に、再協議の意見が出たが、今度は、塩田町長が、「武雄市の委員が決ったことを住民に説得を」との発言で、以前は、塩田の町長も議長も再協議にも応じていたような発言からすれば、以前より逆に再協議に否定的に変っている。そこで、いたずらに時間をかけて、再協議を模索するより、このまま湯陶里市で行くのか。市名が武雄で良い所と枠組を変更して合併するのか。また、単独で行くのか早急な決断が必要。

私は湯陶里で良いと思うが、市長や市民が他を選択すればその道の改革を旨ざしたい。

私の質問と市の答弁

1 合併問題

①新市名称への市の方針
区長会より署名が提出されたが市はどうするのか。

【市長答弁】

名称の再協議の働きかけはするが、合併自体は進める。

②財政計画は市民の比較できるものを
単独時と合併時を示せ。また職員退職者補充率に1/2案も提出を

【市回答】

単独時は作成した。1/2案についても、住民説明会までには作成

③合併特例債300億円活用を
市民に配られた、合併資料には

特例債を240億円以上使うと、財政効果があると明記しているのに何故160億円にするのか

【市回答】

市負担も3割いるので、160億円が適当と考えている。

④住民意志を反映する手段
合併の話し合いは、委員で進め

られていて、市民の意見を反映する所がない。名称の事もあり、ぜひ、住民投票をして決して欲しい。

【市回答】

市民の意見は、住民説明会で聞く。住民投票は考えていない。

2 水道事業

①水道料金の値下げ決断を
西部広域水道に、多久市が加入

して、その分利益が生まれた。

また、合併を予定している山内町は、近年、狩立・日峯ダムが完成し、浄水場を作り、その支払い

が始まるので、水道料金値上げが予想されたが、値上げしていない。

それを調べると、赤字を積立から補填していて、また、設備にか

かる人件費は、資本費に計上し長期に支払う形となっていて賢明。

武雄市は、14億円の多額の利益積立金がある。合併後の数年は各自治体別の料金で行くことなこと

なので、武雄市も、山内町のように積立金をくずして日本一高い水道料金を引き下げるべきだ。

【回答主旨】

料金は下げる。積立金の一部を電気設備更新に利用したい。

②1日最大給水量のずさんな算出
水道事業では、水の安定供給や

水源確保、また、将来計画にとって利用者の要望に慮るため、年間のピーク時を知る一番大切な指標である。

しかし、H14年度の決算認定の時、H13年度より20%も急増して1日、1万3千tになり、何の変化と聞くと、管のそうじ、洗管

作業によって増えたとの答えだった。

本来、この指標は、住民がピーク時に必要な水量を知る為であり、洗管作業の加減で変化させると、また将来の経営計画を間違わせ大変なことになる。

【回答主旨】

洗管作業も必要な水であり、1日最大給水量になることもやもやえない。(県内市多くは洗管なし)

③武雄市「水特区」の検討を
武雄市の工業用水は、若木工業

団地に水を送水するのに、若木の本部ダムからではなく、遠く離れた西川登の矢筈ダムから送られているが、これを変えることができない。今後、管が古くなれば、また交換するなど不合理な将来も想像できる。一方、農業用ダムが2ヶ所。上水道用ダムが3ヶ所。上水・工水ダムが1ヶ所あり、多く作ってしまった財産を生かすためには、国の構造改革特区を利用して、この水を有効に利用した地域づくりを進める為に水特区の検討

【水道部長回答】

水利権などの問題があり、難しいのではないかと。

③下水道事業
公共型浄化槽の整備を
武雄市の水洗化の基本は合併浄化槽であり、これまでの個人設置型に加え、H15年度より、市などの公共設置型が制度化された。(浄化槽市町村整備事業という)

これを、武雄市で実施するには現在の下水道マップを見直し、市が浄化槽で整備する地区と決めなければならぬ。また、来年度から実施するならば、県の予算編成前の秋までには、下水道マップの見直しが必要だが、スケジュールはどうなっているのか。

【部長回答】

公共型の合併浄化槽事業をするかは、決めていない。しかし、処理方式の最適化については、総合的に検討を進めている。

3 下水道事業

①下水道マップの早期見直しと
公共型浄化槽の整備を

武雄市の水洗化の基本は合併浄化槽であり、これまでの個人設置型に加え、H15年度より、市などの公共設置型が制度化された。(浄化槽市町村整備事業という)

これを、武雄市で実施するには現在の下水道マップを見直し、市が浄化槽で整備する地区と決めなければならぬ。また、来年度から実施するならば、県の予算編成前の秋までには、下水道マップの見直しが必要だが、スケジュールはどうなっているのか。

【部長回答】

公共型の合併浄化槽事業をするかは、決めていない。しかし、処理方式の最適化については、総合的に検討を進めている。

④教育文化
給食牛乳のピン化とオープン教室の改善の進捗状況

現在、給食の牛乳は紙パックで使用後は焼却されているので、教育の観点からピンに変更したいと教育委員会の方針だった。また、御船ヶ丘小のオープン教

室に戸がなく、勉強に集中できない時もあり、防音の戸の設置を約束されたが、その後どうなったか。

【教育部長】

牛乳ピン化については、県の学校給食用牛乳の協議会に、検討をお願いしている。

オープン教室については、現在市建設課に委託して、改善設計が秋口にはできる予定。

②武雄小と御船小の児童数の適正化
H5年に御船小が開校して、平成7年には両校の不均衡がすでに問題になっていた。校舎増築などになった場合、不経済なので、通学区の見直しなどを提案しているが、子供自身が減少し、増築等にはならないとの答えだった。しかしH13年に増築している。また、

もう数年すれば、武雄小が全学生2クラス、御船小が全学生4クラスと同じ町内ながら半分の規模になる。両校児童の均衡化をすべきでは。

【教育部長】

御船小は大規模校、武雄小は中規模校で、どちらも適正規模校の中にはある。(高校再編では3クラス以下は活力がないとの発言と矛盾)

②武雄小と御船小の児童数の適正化
H5年に御船小が開校して、平成7年には両校の不均衡がすでに問題になっていた。校舎増築などになった場合、不経済なので、通学区の見直しなどを提案しているが、子供自身が減少し、増築等にはならないとの答えだった。しかしH13年に増築している。また、

もう数年すれば、武雄小が全学生2クラス、御船小が全学生4クラスと同じ町内ながら半分の規模になる。両校児童の均衡化をすべきでは。

【教育部長】

御船小は大規模校、武雄小は中規模校で、どちらも適正規模校の中にはある。(高校再編では3クラス以下は活力がないとの発言と矛盾)

②武雄小と御船小の児童数の適正化
H5年に御船小が開校して、平成7年には両校の不均衡がすでに問題になっていた。校舎増築などになった場合、不経済なので、通学区の見直しなどを提案しているが、子供自身が減少し、増築等にはならないとの答えだった。しかしH13年に増築している。また、

もう数年すれば、武雄小が全学生2クラス、御船小が全学生4クラスと同じ町内ながら半分の規模になる。両校児童の均衡化をすべきでは。

【教育部長】

御船小は大規模校、武雄小は中規模校で、どちらも適正規模校の中にはある。(高校再編では3クラス以下は活力がないとの発言と矛盾)

市長提案

行政評価委員報償費

今回、始めて実施する。国でも、諫早干拓など、一度決まったことは、なかなか変更ができない。そこで、住民や学識経験者等に外部からの視点で行政の事業を評価してもらい、今後の継続や廃止等の判断材料とするもの。

具体的には、別表5名に、7月8月に、H15・16年度実施の事業で17年度以降も継続するものについての評価をしようという。

それを受けて、庁内で検討し、11月頃の来年度、予算編成に生かすらしい。委員の英断を望む。

中西 一 佐大助教授
山口 征也 税理士会
山口 修代 商工会議所
尾形 民生 金融機関
藤津 洋子 市政モニター

②武雄小と御船小の児童数の適正化
H5年に御船小が開校して、平成7年には両校の不均衡がすでに問題になっていた。校舎増築などになった場合、不経済なので、通学区の見直しなどを提案しているが、子供自身が減少し、増築等にはならないとの答えだった。しかしH13年に増築している。また、

もう数年すれば、武雄小が全学生2クラス、御船小が全学生4クラスと同じ町内ながら半分の規模になる。両校児童の均衡化をすべきでは。

【教育部長】

御船小は大規模校、武雄小は中規模校で、どちらも適正規模校の中にはある。(高校再編では3クラス以下は活力がないとの発言と矛盾)

②武雄小と御船小の児童数の適正化
H5年に御船小が開校して、平成7年には両校の不均衡がすでに問題になっていた。校舎増築などになった場合、不経済なので、通学区の見直しなどを提案しているが、子供自身が減少し、増築等にはならないとの答えだった。しかしH13年に増築している。また、

もう数年すれば、武雄小が全学生2クラス、御船小が全学生4クラスと同じ町内ながら半分の規模になる。両校児童の均衡化をすべきでは。

【教育部長】

御船小は大規模校、武雄小は中規模校で、どちらも適正規模校の中にはある。(高校再編では3クラス以下は活力がないとの発言と矛盾)

②武雄小と御船小の児童数の適正化
H5年に御船小が開校して、平成7年には両校の不均衡がすでに問題になっていた。校舎増築などになった場合、不経済なので、通学区の見直しなどを提案しているが、子供自身が減少し、増築等にはならないとの答えだった。しかしH13年に増築している。また、

もう数年すれば、武雄小が全学生2クラス、御船小が全学生4クラスと同じ町内ながら半分の規模になる。両校児童の均衡化をすべきでは。

【教育部長】

御船小は大規模校、武雄小は中規模校で、どちらも適正規模校の中にはある。(高校再編では3クラス以下は活力がないとの発言と矛盾)

②武雄小と御船小の児童数の適正化
H5年に御船小が開校して、平成7年には両校の不均衡がすでに問題になっていた。校舎増築などになった場合、不経済なので、通学区の見直しなどを提案しているが、子供自身が減少し、増築等にはならないとの答えだった。しかしH13年に増築している。また、

もう数年すれば、武雄小が全学生2クラス、御船小が全学生4クラスと同じ町内ながら半分の規模になる。両校児童の均衡化をすべきでは。

議案の主な内容

アネックススポーツランド廃止の状況

H7年に、「武雄かんぽ」の付属の温泉スポーツ施設として、ドイツのバーデンバーデンを参考に、今まで日本にないタイプの温泉保養を目指していた。特殊法人の整理合理化で不採算部門の統廃合のため、このアネックスも対象になったという。

今年1月には、日本郵政公社から、武雄かんぽは、経営継続するが、アネックスは、市に、評価額の土地1・8億円、建物6・9億円の合計8億7千万円で譲渡するが、購入しないかの照会があった。

4月、市は、武雄温泉ハイットの譲渡価格(約1千万円)に比較して高額で市の譲り受け困難との回答。6月、郵政公社より、10月1日をもって営業停止が通知された。

今後、アネックスの購入者が現れない場合は、公社は施設を解体して、さら地にするという。そこで市は、もう一度話し合いをもってみるということだ。

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックススポーツランド廃止の状況

H7年に、「武雄かんぽ」の付属の温泉スポーツ施設として、ドイツのバーデンバーデンを参考に、今まで日本にないタイプの温泉保養を目指していた。特殊法人の整理合理化で不採算部門の統廃合のため、このアネックスも対象になったという。

今年1月には、日本郵政公社から、武雄かんぽは、経営継続するが、アネックスは、市に、評価額の土地1・8億円、建物6・9億円の合計8億7千万円で譲渡するが、購入しないかの照会があった。

4月、市は、武雄温泉ハイットの譲渡価格(約1千万円)に比較して高額で市の譲り受け困難との回答。6月、郵政公社より、10月1日をもって営業停止が通知された。

今後、アネックスの購入者が現れない場合は、公社は施設を解体して、さら地にするという。そこで市は、もう一度話し合いをもってみるということだ。

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか



アネックスの無償譲渡できないか



10月に民間に移管される杵島向陽園 S29年建設で50周年

オンリーワンさが体験学習

県が費用を、一クラス約15万円30人のクラスで、1人5千円程度を出して、子供に体験学習をさせるもので、ただ、全員ではなく、武雄市の場合、武中の1年全クラスとそこに進学する、御船・武雄・朝日・橘小の5年生が合同して、やきもの体験。川登中の2年と東西小5年で水産体験をする。

また、北中2年と若木小4年と武内小5年合同で、やきもの業を体験する。これには、他の学年はできないのか?何年続けるのかの疑問も残るが、県が金を出さな、活用するが、何か、オンリーワン(独自)とはなっていない気がする。

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

アネックスの無償譲渡できないか

どうも 武雄市土地開発公社 23億円分の土地資産か負債

合併において、武雄市の評価の欠点・弱点なのが、土地開発公社のかくれ借金である。高度経済成長で、土地が毎年高騰した為に、市とは別組織の公社に、公共事業を予定している土地を値上り前に取得してもらい、事業に着手すれば市が買ひもどすシステム。

しかし、バブル破壊による、地価の下落で、逆ざやになり、また土地は全て銀行借入れで行っている、毎年、金利が簿価に加算されて、土地の実勢価値より高くなり実際に売れば、赤字になる状況。平成12年には、約33億円分の土地の保有に膨れ上っていた。そこで、H13年度より、経営健全化計画を8年間で予定して取組んで、H20年度には、約17億円までに減少させるという。

- ①保有土地の簿価総額をへらす
- ②用地の使用目的を明確化する
- ③遊休土地を処分する
- ④土地購入の目的を完全明確化
- ⑤事務費をへらす

健全化の重点目標として、
 ①保有土地の簿価総額をへらす
 ②用地の使用目的を明確化する
 ③遊休土地を処分する
 ④土地購入の目的を完全明確化
 ⑤事務費をへらす
 としているが、本来、利用予定の短期保有土地を取得するべきであり、公社は、その責任を取るなり、謝罪をすべきだ。

ところで、健全化によって、H15年度までに、民間売却や、市がさぎの森広場を売りもどして、H12年に33億円分保有から、H15年度末に23億円分までに減少させている。



そこで、現在保有する、簿価23億円分の土地の実勢価格との差を私が一般質問した所、差額(差損)は2億3000万円ということだ。土地開発公社のかくれ負債は、準備金(貯金)を1億5000万円程度もっているの、見方では、差引は、1億5000万円の赤字となる。

しかし、私が見る所、23億円の内の約10億円は、駅南の駐車場9億円や保養村2億円で、利用がなくても公有地として市が購入する。また、後約13億円分の代替用も、半分程度は、長期売れ残ると思われるので、合計16億円程度は、最終的には、市の予算から支出する。いわゆるかくれ借金だ。

しかし、過去の積みかさねが今回見直されたことは大変良いことである。また、今回、簿価を上げない為に、財政課内に事務局を兼任し、また借入金23億円を三井住友銀行に一本化して、金利0.055%という破格の安さで、23億円借りて年間127万円の利子が、公社が土地を貸して得る収入が、1900万円なので、簿価が現在より、減少する良い逆ざやになった。

ともかく、公社の約16億円は、新市で負担することになると思うので、合併予定3町の住民には気のどくだが、できるだけ、合併特例債で、若木の本部ダム跡地などは運動広場などの用地として利用するなど有効活用を市民全体で考える必要もあるのではと思う。

工業用水と 青色発光ダイオード

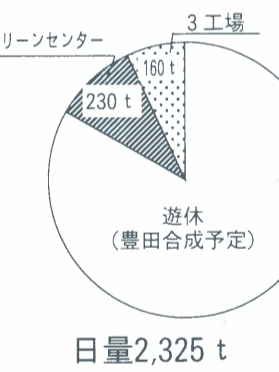
市民の方も、武雄市の工業用水道事業が、一般の企業なら、とうのむかしにつぶれているような、浮世離れした経営状況だと知っておられる方も多いと思います。今度、豊田合成様が、青色発光ダイオードを若木工業団地で製造することになり、大量に使用してくれようということで、工水事業に益と正月がいつしよに来た様だ。それとは知らずに、昨年、環境特別委員会、現在青色発光ダイオードの最大手、日亜化学のある徳島県阿南市に行政視察に行ったが、この工場のおかげで、地方交付税不交付団体と言って、国の援助のもらえない市になったそうで、武雄市も期待できるかも。ただ、豊田合成九州(株)の場所を使うだけで経営は豊田合成本社なので税収は、あまり期待できないかもしれぬ。しかし、従業員は、H18年度までに350名の雇用を予定しているのありがたい。

ここで、工業用水道の状況について説明したい。
 西川登町の矢筈ダムから、武雄町の淵ノ尾第3場水場まで、浄水し消毒はしないで、遠路、県営の若木工業団地内での利用目的で供給している。1日2325tを供給できるが、現在の契約は3社合計160tしかない。毎年決算認定の時、何とかならないかとの指摘もあり、水量の10%は雑用水として利用できるぬけ道があるらしく、H14年度より柘藤クリーンセンターに公共の為との理由を付けて、日量230tを供給した。

しかし、グラフでも解るように、ほとんど遊休状態である。収支で見ると、収入6百万円に對して、経費が1300万円、700万円の赤字。

それに、投資分の借入と利子の返済が5千万円で、合計5千7百万円を一般会計より補充している。ここに、青色発光ダイオード、製造で、豊田合成が、1千2千t利用の予定で、仮に2千tなら全部完済でありがたい。しかし1t単価45円で、2千tの365日では、3千3百万円程度となり、これまでの3百万円の合計、3千6百万円の収入だが、支出が5千7百万円だから、完済しても、毎年2千3百万円は、一般会計からの補助が必要となる。だから、豊田合成が、1千t利用の時は、特区のような抜本的対策が必要。

工業用水利用状況



来年より発光ダイオード製造する豊田合成1千tか2千tか

ちよつと長い 制作後記と今後のプラン

いよいよ、今後50年の方向が決まらう、合併の山場を迎える。前回は少し述べたが、私は、合併は手段であって、目的ではないと思っっている。小さく小回りのきく方が良いか、ある程度まとまって分業するかの選択であり、私は玄海町や太良町の選択は良いと思うし、七山や三瀬、もしかしたら合併しない方が良くとも考える。そこで、武雄市はどうかとなれば、西九州の拠点や新幹線長崎ルートなど、どう考えても、緊縮形の自治体をめざすには無理がある。それなら、鍋島茂義のように外国まで視野をもとまで言わないが、心の門戸を開いて、合併が住民にとって利点が欠点より多いなら推進して行くべきと思う。

武雄市は合併の初期において杵島6町からはずされ、山内町も有田町から誘いを受けるなど、孤立の可能性もあった。2市4町もくずれ、鹿島市と藤津郡での合併もあったが、嬉野谷口町長は、一貫して武雄市との合併、古庄氏の広く合併論の賛同者であった。また、町内を2分する、鹿島市との合併を「泣いて馬渡を斬って来た。」と言ったこの合併協のテールについて杉光塩田町長。私が思うに「おれがおれの鹿島より」「よかさよかさの武雄」の寛容が生んだ運命と思っっている。

初めて多民族を国として治めたローマ帝国は、寛容と自治をもつて、長期間の繁栄を創ったと言っ。私が思うに、3町は、兄思いの弟のように見える。自ら、本庁は武雄で良いと、話合いが始まるやいなや提案したり、武雄市は税金は現状どおりだが、3町は上り、合併の原則である、サービスは高い方、料金は安い方に合わせることについても、反対になっていくが、それにも納得。また、土地開発公社や競輪・上水・工水・下水道等の、武雄市の問題点についても、やむなしの対応。だから武雄市古庄市長が新市名の、湯陶里市で、早く合併を決断してもらいたい。

そして、新市の具体的内容が、ほとんど先送りの協定項目の具体的内容を早く決めてもらいたい。特に、1市3町の合計の地方交付税が現在77億円来ているが、合併すれば、基準財政需要額が減らされ、10年後には段階的に67億円に10億円減らされる。だから、合併すれば、20年間で見れば、後の10年は百億円のマイナスになるので、現在計画の特例債の160億円の利用では、中途半端で役所の為の合併に終わらねない。最近、この名称を契機に、このままの財政計画ならば武雄市と山内町、嬉野町と塩田町に分れて、前者が100億円、後者が90億円程度の特例債を利用して2分割したが、経済的には良いとの考えも持つようにもなった。ただ、私の選挙公約、水道料値下げの為には、水不足の嬉野町や地下水をもつ塩田との合併は不可欠と考えている。

東部開発の今

東部地区については、市が農業振興地域の法的制限をはずして、民間に開発させる計画で、目標は江北バイパスと言う。現在、約10haを半分づつ、五光建設と大和ハウスの募集を行っている。テナメントの募集は、17年の1月から実際の造成は、17年の1月から予定とのこと。